

安全性データシート

改定日: 2022年4月7日

前作成日: 2019年11月5日

SDS番号: 466B-3

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

610 Plus シンセティック・ルブリケーティング・フルイド (バルク)

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

合成ベースの潤滑剤。270° C までの温度で運転する装置の潤滑用。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

株式会社 明治屋

神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地

TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731

Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

GHS によれば、本製品はいずれの危険物クラスにおいても分類基準を満たしていません。しかしながら、健康や環境を害する物質が最低1種含まれているので、要求に応じて安全データシートが供給されます。

2.1.2. 追加情報

なし

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示: なし

信号語: なし

危険有害性情報: なし

使用上の注意: なし

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

なし

セクション 3: 組成、成分情報				
3.2. 混合物				
危険成分 ¹	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
アミン、C11-14- 分枝アルキル、モノヘキシルおよびジヘキシルリン 酸塩	0-2	80939-62-4	眼刺激性 2A, H319 皮膚刺激性 2, H315 水生慢性 2, H411	ATE (経口): > 5000 mg/kg ATE (経皮): > 2000 mg/kg
¹ 分類基準： * 労働安全衛生法 * 毒物および劇物取締法 * GHS, 1272/2008/EC, REACH				
セクション 4: 応急処置				
4.1. 応急処置情報				
吸入：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合は医師に連絡してください。			
皮膚への付着：	石鹼水で皮膚を洗浄してください。汚染した衣服は脱いでください。炎症が生じた場合は、医師の診断を受けてください。			
目に入った場合：	大量の水で目を最低15分間洗い流してください。炎症が生じた場合は、医師の診断を受けてください。			
呑み込んだ場合：	意識がある場合は、水で口をゆすがせ。無理に吐かせないでください。医師の診断を受けてください。			
応急手当を行う人の保護：	犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。			
4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）				
直接接触すると目にかすかな刺激を与えることがあります。				
4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候				
症状の手当てをしてください。				
セクション 5: 火災時の処置				
5.1. 消火剤				
適切な消火剤：	二酸化炭素、乾燥薬品、耐アルコール性発泡体、水霧			
不適切消火剤：	ウォータージェット			
5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性				
有害な燃焼生成物：	炭素酸化物、窒素酸化物、リン酸化物。			
その他の危険性：	異常な高熱に晒されるとガスが生成され容器が破裂することがあります。			
5.3. 消防の際のアドバイス				
熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。				

セクション 6： 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。表面が滑りやすいことがあります。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7： 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。可動装置に関わる他の製品と同様、注意して使用してください。疑問がある場合は使用前に装置を停止してください。作業着は他の衣服と別々に洗濯してください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

乾燥して涼しく換気の良い場所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分

日本産業衛生学会 OEL

ACGIH TLV

ppm

mg/m³

ppm

mg/m³

アミン、C11-14-
分枝アルキル、モノヘキシルおよびジヘキシルリン酸塩

N/A

N/A

N/A

N/A

生物学的限界値

入手不可

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

条件は特になし。超高温で使用する場合あるいはミストを生成する場合は、局所排気装置を使用してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。通気が不十分なところでは、埃/有機蒸気フィルター付きの半面あるいは全面呼吸マスクを使用してください(欧州規格フィルタータイプ A/P)。

手袋： 耐薬品性手袋(例：ネオプレンあるいはニトリル)。

目 / 顔の保護： 安全メガネ

その他： 長袖、長ズボンを着用し、身体を清潔に保ち、皮膚との接触を避けてください。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質**9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	液体	pH	適応せず
色	透明、黄色から琥珀色	動粘	68 cst @ 40° C
臭気	かすかな臭気	水溶性	不溶性
においの閾値	データなし	分配係数:n-オクタノール/水	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	未定	20°Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	< -40° C	相対密度	0.99 kg/l
揮発率%(容量比)	なし	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	データなし	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率(%)	未定
引火点	> 270° C	爆発性	適応せず
方法	クリーブランド開カップ	酸化性	適応せず
自己発火温度	未定	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10： 安定性及び反応性**10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

既知の影響なし

10.5. 配合禁忌薬品

強酸、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

熱分解すると炭素・窒素・リン酸化物、を発生することがあります。

セクション 11： 有害性情報**11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路： 皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口:	ATE-混合物 > 2,000 mg/kg
経皮:	ATE-混合物 > 2,000 mg/kg
吸入:	情報なし
皮膚腐食性/刺激性:	炎症なし
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性:	直接接触すると目にかすかな刺激を与えることがあります。
呼吸器または皮膚の感作:	既知の影響はありません。
胚細胞突然変異原性:	既知の影響はありません。
がん原性:	本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。
生殖毒性:	情報なし
STOT - 単回暴露:	情報なし
STOT - 反復暴露:	情報なし
吸引性呼吸器有害性:	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
既知の影響なし	

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

96時間LC50 (対魚) > 水溶解度限界。48h EC50 (ミジンコによる半数影響濃度) > 水溶解度限界。

12.2. 持続性・分解性

容易に生分解しません。

12.3. 生物蓄積の可能性

生体内蓄積しません。

12.4. 土壌中の移動性

液体。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください (セクション9参照)。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄処理方法

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。未使用の製品は2008/98/ECで危険廃棄物に指定されていません。

セクション 14: 輸送上の注意

14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
--------	---------------	----------------

その他の国内規制: なし

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規 (1272/2008/EC)
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL: 許容暴露限度
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制 (1907/2006/EC)
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典： 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
 スウェーデン化学物質庁 (KEMI)
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
 化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法：

分類	分類手順
適応せず	適応せず

関連するH(危険)-ステートメント： H315: 皮膚刺激。
 H319: 強い眼刺激。
 H411: 長期的影響により水生生物に毒性。

その他の情報： なし

本改訂によるSDSの変更： セクション 1.1, 3, 5.2, 8.1, 8.2.2, 8.2.3, 9.1, 10.6, 12.6, 14, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。